



【タイ】



レポーター
ユキコ ブーンブアトーンさん
(タイ バンコク 在住)



タイ
面積:約514,000km²
人口:約69,122,000人
首都:バンコク

タイは世界でも第4位の在留邦人の多い国。自然や文化が豊かで食べ物がおしく、穏やかなタイ人の性格は世界中の観光客を惹き付けています。その中でもバンコクは多国籍で活気に満ちた大都会。道行く人の容姿や言葉は本当に様々です。私がこの街を好きな理由の一つは、この国が何でも受け入れる寛容さを持っているからです。

私自身は、仕事の関係で東南アジアの数カ国に数年ずつ住んだ後、現在はバンコクで1歳になる息子の子育てをしています。ここでは主に子育てを通して見たタイについてお話したいと思います。

大人が子どもに席を譲る国

タイの人達は子ども好き。近代化で昔と比べてせち辛くなったとは言え今でも子持ちにとって大変ありがたい国です。妊婦も子ども連れも電車に乗ると必ず席を譲ってもらえます。さらにタイは大人が子ども(小学生くらいまで)に席を譲る習慣があります。これは弱いものは守るべきというタイの人の考え方からきているのだと思います。そのため守られる子どもは大人に絶対従わなくてはいけないというルールもしっかり社会に根付いています。



▲朝の街角

赤ちゃんとお宝くじ

子ども好きのタイの人達に支えられ、我が息子もすくすく成長中。道を歩けばみんな笑顔であいさつしてくれます。そんな息子が特に人気者になる日があります。それは月2回の宝くじの抽選日の前日。タイでは番号を選んで買うくじが人気ですが、赤ちゃんが選んだ数字は当たりやすいという迷信があるそうです。しかし、息子が選んだ数字が当たったという話はいまだ聞いたことがありません。

公園デビュー

バンコクは日本のように地区ごとの児童公園がない上、昼間は暑いので子どもはあまり外遊びをしません。運よく私の住む街には公園があったので私も「公園デビュー」しました。そこで同じように小さい子どもを持つママさん達と知り合いになりました。タイも受験競争が激しく、教育熱心なお母さんは子どもがまだよちよち歩きのうちから幼稚園やお稽古事の情報交換に熱心です。タイは近所同士でも同じ学校へ行くことはあまりなく、その家庭の経済レベルや教育方針によって実に様々な選択肢があります。しかし、我が子にできるだけのことをしてやりたいという親心は世界共通のようです。

(文・写真提供:ユキコ ブーンブアトーンさん)



▲譲ってもらった席でぎよるぎよる

公園に来るベビーたち▶



バンコクは建設ラッシュ▶

